

釧路工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	デザインプロポーザル	
科目基礎情報							
科目番号	0016			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	建設・生産システム工学専攻			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	[参考書] 1. 一般社団法人全国高等専門学校連合会編, デザコン official book, 建築資料研究社. 2. 仙台建築都市学生会議+せんだいメディアテーク編, 卒業設計日本一決定戦 official book, 建築資料研究社. 3. 新建築 各号, 新建築社. [教科書, 問題集] 作品を制作する科目のため設定はしない						
担当教員	平澤 宙之						
到達目標							
評価項目1: デザコンの設計課題に対して、計画案をまとめることができる。 評価項目2: 計画案について、ポスターとスライドを用いてプレゼンテーションができる。 評価項目3: 個人・グループ作業において、積極的に行動できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	デザコンの設計課題に対して、計画案をまとめることができ、それが魅力的なものである。			デザコンの設計課題に対して、計画案を適切にまとめることができる。		デザコンの設計課題に対して、計画案をまとめることができない。	
評価項目2	計画案について、スライド、ポスターを用いて効果的なプレゼンテーションができる。			計画案について、スライド、ポスターを用いてわかりやすいプレゼンテーションができる。		計画案について、スライド、ポスターを用いてプレゼンテーションができない。	
評価項目3	個人・グループ作業において計画的かつ積極的に行動できる。			個人・グループ作業において、積極的に行動できる。		個人・グループ作業において、協力して行動できない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 D 学習・教育到達度目標 E 学習・教育到達度目標 F JABEE d-3 JABEE e JABEE f							
教育方法等							
概要	全国高等専門学校デザインコンペティション（デザコン）の設計課題に応募することを通じ、デザインとプレゼンテーションの能力向上を目指す。 そのためには積極的なフィールド調査やエスキスを行い、中間、最終発表以外にも個別指導の際の資料、構想の提示を求める。基本的な作図能力はもちろんのこと、スケッチ能力や各種画像処理ソフトウェアを利用した表現能力は必須である。そのほか、文章力や情報収集能力が重要となる。						
授業の進め方・方法	授業では、デザコンに出品するための作品の制作を行ってもらう。学修単位であることから時間外にも制作してもらうことを想定している。制作内容によっては模型材料が必要となる場合がある。 作品を制作するにあたっては、当科目に関連する建築設計演習Ⅰ～Ⅳ、特別設計演習で習得する建築製図や模型制作に関する技術を必要とする。 授業中に2回の発表を求める。点数の内訳は中間発表はプレゼンテーション：10点、作品内容：20点、最終発表はプレゼンテーション：20点、作品内容：50点である。 合否判定について、中間発表と最終発表の点数の合計が60点以上で合格とする。 成績評価は評価割合の欄の通りである。						
注意点	原則として個人で取り組むことを基本とするが、デザコンのテーマや条件を勘案してグループ構成とする場合もある。 グループを組む場合は当科目を履修している者のみでメンバーを構成することとする。 授業中は、無断で講義室から出ないこと。 授業や配布資料は主に日本語にて提供する。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		当科目の目的やデザコンの主旨、設計課題の内容について理解できる。		
		2週	調査・計画		取り組む設計課題に関する条件の整理、計画のための調査ができる。		
		3週	エスキス1		企画・構想した内容を適切に表現することができる。		
		4週	エスキス2		企画・構想した内容を適切に表現することができる。		
		5週	エスキス3		企画・構想した内容を適切に表現することができる。		
		6週	エスキス4		調査結果・計画内容を踏まえて中間発表用の資料を作成できる。		
		7週	エスキス5		調査結果・計画内容を踏まえて中間発表用の資料を作成できる。		
		8週	中間発表（実施しない）		デザコン提出に向けた作品をポスター・スライドを用いて的確に表現できる。		
	2ndQ	9週	作品の制作1		中間発表での講評を踏まえて作品を改善することができる。		
		10週	作品の制作2		中間発表での講評を踏まえて作品を改善することができる。		
		11週	作品の制作3		中間発表での講評を踏まえて作品を改善することができる。		
		12週	作品の制作4		中間発表での講評を踏まえて作品を改善することができる。		
		13週	作品の制作5		中間発表での講評を踏まえて作品を改善することができる。		

		14週	作品の制作6	中間発表での講評を踏まえて作品を改善することができる。
		15週	最終発表	出品した作品について、ポスター・スライドを使用し 的確に表現できる。
		16週	(前期中間試験、前期末試験ともに実施しない)	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	20	10	10	60	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	20	10	10	60	0	100